

# 令和7年度 学校経営計画書

学校名 瀬戸内市立今城小学校  
校長名 恒 次 宏 晃

## 1 本校のミッション（使命、存在意義）

＜学校教育目標＞「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 今城っ子の育成 ～輝く瞳の今城っ子をめざして～」  
劇的に変化していく社会の中で、柔軟に対応し自立して生きていくことができる人間力を育てるために、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を養い、新たな価値の創造とその実現に向けて努力できる資質・能力の育成につながる教育を目指す。

- 児童一人一人のよさや多様性を認め、個性の伸長を図りながら、自立への基礎を培う。
- 家庭や地域の方々と連携し、地域に開かれ信頼される学校づくりを推進する。
- 全教職員がそれぞれのよさを発揮しながら、協働して、創意を生かした喜びと活力のある学校づくりを行う。

## 2 学校内外の環境分析

- 全体として落ち着いていて、明るく素直で、何事にも真面目に取り組もうとする児童が多い。
- 進んで人前で発表したり、積極的に活動したりする面は、やや欠けるところはある。
- 学力は、ほぼ平均的ではあるが、個人差が大きく、個別指導の必要な児童も各学級に在籍する。
- 長期欠席は少ないものの、遅刻が多く、学校での居場所づくりが必要な児童が数名いる。
- 施設面での環境は徐々に整えられつつあり、広い運動場や豊かな自然など、教育環境に恵まれている。
- 地域コミュニティ活動やスポーツ少年団活動等が活発で、保護者や地域住民の教育に対する関心は高く協力的である。
- 学校支援ボランティアによる教育活動が定着し、年間通して活発に活動ができていて、その教育的効果は大きい。
- 家庭環境の差は大きく、課題のある家庭も増えつつある。

## 3 ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- |          |                |            |           |
|----------|----------------|------------|-----------|
| ＜めざす児童像＞ | ○進んで学ぶ子        | ○思いやりのある子  | ○元気でがんばる子 |
| ＜めざす学校像＞ | ○喜びのある学校       | ○やりがいのある学校 | ○信頼できる学校  |
| ＜めざす教師像＞ | ○やさしさと厳しさをもつ教師 | ○学び続ける教師   | ○協力する教師   |

## 4 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

### (1) 確かな学力の定着

- 周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業の工夫
  - ・「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」「実際の社会や生活で生きて働く知識・技能」が実感できる授業
  - ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業
  - ・見通しをもって粘り強く取り組む力が身につく授業
  - ・タブレット型端末やICT機器の効果的な活用
- 基礎学力の定着の徹底を図るための工夫ー「岡山型学習指導のスタンダード」の実践
  - ・学習規律の定着
  - ・基礎基本の徹底
  - ・朝学タイムの充実
  - ・朝読書の充実
  - ・家庭での学習習慣の定着と計画力の育成
  - ・自学の充実
  - ・系統立てた情報活用能力の育成
- 思考力・判断力・表現力を豊かにするための工夫
  - ・対話を生み出すための聴く力の向上
  - ・ICT機器の有効活用
  - ・外部人材・資源の活用
  - ・ペア・グループ学習、話し合い活動・発表等を活性化させ、自分の考えを表現する場の設定

### (2) 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実と判断力や実践意欲態度の育成
- 教育相談の充実
- 読書の奨励
- 全教職員の共通理解による連携指導
  - ・毎週水曜日の生徒指導連絡会
  - ・ケース会等を活用した共通理解の促進
  - ・長期欠席・不登校対策（自立応援室）
- 望ましい人間関係づくり
  - ・一人一人を大切に学級経営
  - ・一人一人の違いを認める学級経営
  - ・自己肯定感の向上
  - ・裳掛小との交流
  - ・いじめの実態把握といじめ解消に向けての支援体制の確立
  - ・今城こども園や邑久中学校との連携と交流
  - ・接続カリキュラムの実施によるゆるやかな接続と交流
  - ・縦割り班活動や児童会活動、異学年交流の充実
- 人権教育の充実
  - ・ハンセン病の正しい理解の促進（施設訪問と交流）
  - ・人権週間の取組
- 特別支援教育の推進
  - ・特別支援コーディネーターを中心とする個別の支援計画、指導計画に基づく支援
  - ・2年越しの確実な就学指導
  - ・ケース会議の早期開催
  - ・個に応じた指導の工夫
  - ・子ども園小中との連携
  - ・関係機関との連携
- 地域学校協働本部・外部人材の活用
  - ・わくわくタイムの活用
  - ・地域学習の充実

### (3) 健やかな体の育成

- 基本的生活習慣の定着
- 児童の実態にあった体づくりの推進
  - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
  - ・健康チェック
  - ・アウトメディア
  - ・リズムジャンプの推進
  - ・外遊びの奨励
  - ・水泳・陸上・ペース走の奨励
  - ・めあて・まとめ・振り返りを大切に授業づくり
- 計画的な安全指導
- 食育の推進
  - ・登下校・交通指導
  - ・通学班朝会
  - ・自助・共助を目指した避難訓練
  - ・望ましい食習慣の定着
  - ・給食週間の取組
  - ・栄養教諭との連携

### (4) 信頼される学校づくり

- 教職員の資質
  - ・指導力向上と教職員が協働した学校運営
- 安全面や危機管理面の強化
  - ・定期安全点検の確実な実施
  - ・児童の安全意識の高揚
  - ・教職員の危機管理意識の向上
- 学校と家庭、地域社会が連携してそれぞれの教育機能を発揮
  - ・学校・学級通信の発行
  - ・ホームページでの発信
  - ・地域学校協働本部事業・今城地区コミュニティ協議会との連携
  - ・外部人材の活用
  - ・学校公開、学校評価アンケートの活用
- 働き方改革の推進
  - ・教育課程（学校行事等）の見直し
  - ・業務の平準化と精選、業務の効率化と環境整備